

視聴覚教育

NO 146

発行日 63.10.1

発行 岡崎市AVL

編集

広報委員会

全国視聴覚教育研究会

岡崎大会 近づく

日時 昭和63年10月21日(金) 午前9時～午後5時

場所 井田小学校(午前) 甲山中学校(午前・午後)

岡崎で県大会など規模の大きな視聴覚教育研究会を開催するのは、昭和52年、連尺小・城北中を会場に開催され、輝かしい成果をおさめた愛知県学校視聴覚教育研究大会以来のことです。

コンピュータを始めニューメディアといわれる新しい多種多様な機器が開発され、学校現場にも導入されてきている今日、私達はもう一度岡崎の視聴覚教育を見直す時期にきていると思います。

昨年度末、全国大会開催の話があり、今年度に入ってから視聴覚部と井田小学校・甲山中学校で研究を進めてまいりました。研究期間がわずか半年という強行スケジュールで数多くの困難もありましたが、先生方の熱意がそれを克服し研究の盛り上がりを見せております。

御案内の通り、午前中は両校で岡崎の視聴覚教育の発

表、午後は「国際化を考える」と題した総合研究とケント・ギルバード氏の記念講演があります。ぜひ大勢の先生方に参加していただき、大会を成功させたいと思います。なお、以下に両校の研究の概要を述べておきますので参考にして御参加下さい。

実践報告

たくましい体とゆたかな心を育てる

— 学習を深める視聴覚メディアの活用 —

井田小学校

昨年度から体力づくりにあわせて、豊かな心を育てることを重視し、研究領域の拡大を図り、教科・道徳・特活の全領域でその目的を達成しようとして高橋勉先生(早稲田大学教授)の御指導のもと、授業研究を進めている。子供たちが生き生きと活動する授業(意欲的な学習の創造)をするためには、体験学習を重視することと、視聴覚メディアの活用が大きく影響することを特に感じ、その研究に取り組んでいる。

視聴覚メディアの選択、利用、制作、及び視聴覚施設設備についての操作、管理、運営等の領域で授業実践を通して研究することとした。

すべての教師が視聴覚機器・機材を進んで利用するだけでなく、子供たちも進んでそれらに直接触れ、学習を成立させていけるようにさせたいと考えている。

全校ジョイフル体操と全授業を公開する予定である。



生氣溢れる授業の確立

— 視聴覚機器の利用から — 甲山中学校

本校では、未来社会の展望にたち「豊かな情操と、逞しい創造力の育成」を教育目標にかかげ、開校以来の校訓「質実剛健」（かざらず、まじめで、たくましく）のもと、豊かな人間性を育てあげる教育の確立に努めている。研究主題の「生氣溢れる授業」とは生徒側に立てば、次の自発的で積極的な姿が見える授業といえる。

- ・「思考」を要する問題では、真剣に考える姿
 - ・「練習・訓練」の問題では、真剣に動く姿
 - ・「討議・協議」の問題では、真剣に話し・聞く姿
- また、教師側に立てば、次の情感的で信頼の糸で結ばれた指導がされる授業といえる。
- ・「思考」を促すための課題化の連続性を、一人ひとりにてらして指導する。
 - ・「練習・訓練」を促すための場の設定の持続性を、能力にあわせて指導する。
 - ・「討議・協議」を促すための問題の集約化を、常に称賛しながら指導する。
- 以上の要件が生徒側・教師側で満たされている時「生氣溢れる授業」は確立されると考えた。
- 今年度は「視聴覚機器の活用」を通して研究主題に迫る方策を追究した。機器の整備、関連表の作成やメディアセンターの拡充で各教科での視聴覚機器の利用が多くなったが、とくに導入時の自作VTRは、「生氣溢れる授業」の確立に大きな成果をみることができた。

|| 教研集会報告 ||

寛先生(大門小)、竹内先生(矢作中)

両教諭が県教研へ — 視聴覚部会 —

去る二十日、矢作北中学校で開催された第38次教育研究集会岡崎集会視聴覚部会は、三十余名の会員が日頃の実践記録を持ちより、活発な討論が展開された。

本年度のレポートの傾向として、放送学習の実践についてのもが多く出された。また、パソコンを利用した授業の実践が例年になく多く報告された。

各提案者の報告について、板倉圭吾先生より、レポートのまとめ方から研究の方向づけ、深め方に至るまで、細かい点に及ぶ助言をいただいた。

今後ますます研究を深め、その成果をより多くの先生方に広げていくことが、今後の課題であるという助言を受け、盛会のうちに教研集会は終わった。

県教研へは寛(大門小)、竹内(矢作中)の両教諭が選ばれ、その活躍が期待される。

ライブラリーたより

16ミリ映画「ともに育てる」 B 128 30分



新規購入の16ミリ映画「ともに育てる」は、多くの家庭に見られる父親存在感の希薄、そして家事やパートに追われながらの子育ての苦悩を、厳しさと優しさの中で支え合う姿を描いている。父親は子供達の自立心をうまく導きながら、やがて母親の役割の大切さを教える。理想的な子育てとは、家庭教育の基本は何かなど、この映画は、一組の中年家庭を例に示唆してくれる。